



なかしん

中小企業景況レポート

No.25 中栄信用金庫 地域支援部

平成29年10月～12月実績と平成30年1月～3月見込み

◆調査概要

調査時期 平成29年12月上旬
 調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町
 調査企業数 347社
 回答企業数 330社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	94	90	95.7
卸売業	30	29	96.6
小売・飲食業	64	60	93.7
サービス業	55	53	96.3
建設業	64	61	95.3
不動産業	40	37	92.5
合計	347	330	95.1

◆10月～12月期の概況

～景況感は改善、人手不足感は更に強まる～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断 D.I. は 7.0 を示し、前回調査（平成29年7～9月期）に比べ 8.8 ポイントの改善となりました。前回調査時における天候不順などによる客足の鈍化や建設工事の工期遅れの影響は徐々に和らぎ、製造業や建設業を中心に、受注状況が増加基調にあることから、売上額・収益 D.I. は改善し、業況判断 D.I. は平成29年6月期の 4.2 を上回り、過去最高値となっております。更に、人手不足 D.I. は▲37.9 と、調査開始以来、最も人手不足感が強く、人件費の上昇や受注機会の損失など人手不足の影響が拡大する中、一部企業においては、自動化・効率化に向けた機械設備の導入に踏み切る動きや正社員への雇用シフトにより人材確保を図る動きもみられます。

また、特別調査においては、2018年の自社の業況見通しを「良い局面」と回答した企業の割合が、「悪い局面」と回答した企業の割合を2年連続で上回り、1年前の調査に比べ、12.9 ポイント上昇の▲2.1 となっております。

項目別にみると、売上実績 D.I. は 9.9 ポイント改善の 14.5、収益実績 D.I. は 7.5 ポイント改善の 7.5 となっております。また、仕入価格 D.I. は 8.8 ポイント上昇感が強まり 29.7、資金繰り D.I. は 4.2 ポイント改善の▲10.6、人手不足については 9.8 ポイント不足感が強まり▲37.9 となっております。

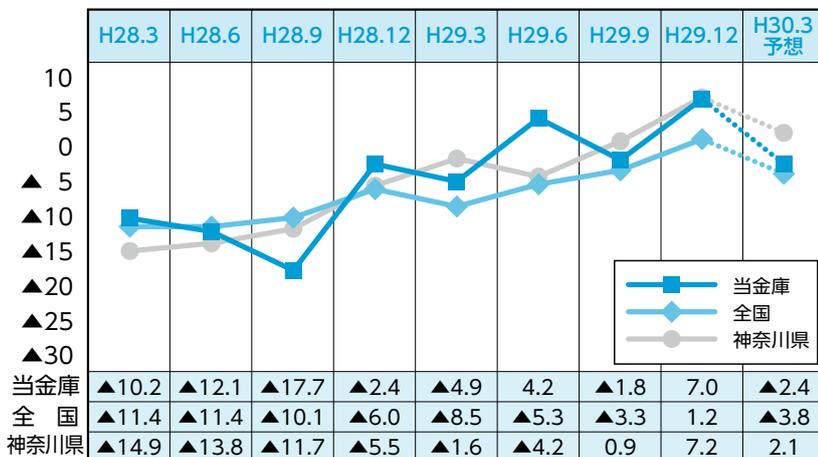
また業種別の景況感は、建設業が 31.6 ポイント改善の 19.7、製造業が 10.7 ポイント改善の 30.3、卸売業が 9.7 ポイント改善の▲10.3、サービス業が 5.8 ポイント改善の 0.0、不動産業が 5.1 ポイント改善の 0.0、小売・飲食業が 10.6 ポイント悪化の▲21.7 となっております。（業種別の詳細については、次頁以降をご参照ください。）

なお、全国の中小企業業況判断 D.I. は、4.5 ポイント改善の 1.2、神奈川県内は、6.3 ポイント改善の 7.2 となっております。（全国と神奈川県の D.I. 値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

◆1月～3月期の見通し

来期の業況判断予想は、9.4 ポイント悪化の▲2.4、売上額 D.I. は 14.8 ポイント悪化の▲0.3、収益 D.I. は 15.0 ポイント悪化の▲7.5 の予想となっております。

業況判断 D.I. 値 (全業種)



業種別景気天気図

	前期	今期	予想
総合			
製造業			
卸売業			
小売・飲食業			
サービス業			
建設業			
不動産業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調
 良い ← → 悪い

全国、神奈川県の業況判断 D.I. 値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約 16,000 (うち神奈川県 約 480) の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I. 値とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

製造業

概況

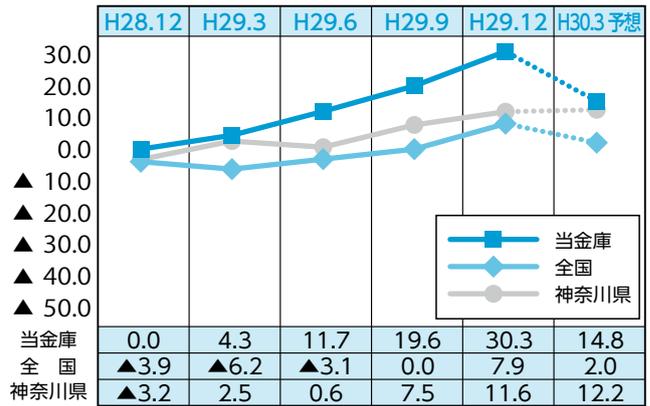
製造業の業況判断 D.I. は前回調査比 10.7 ポイント改善の 30.3 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 2.8 ポイント改善の 26.7、収益 D.I. は 1.6 ポイント小幅改善の 23.3 となっております。

人手不足感が更に強まり、納期に向けた残業対応などによる人件費の増加や受注機会の損失が生じる企業が見受けられる中、輸送用機械・電気機械部品関連を中心に、足もとの受注状況は総じて増加基調にあることから、景況感は 5 期連続の改善に至ったものと思われま。また一部企業においては、各種税制等の活用により、自動化・効率化に向けた機械設備の導入に踏み切る動きや業容拡大を企図した工場移転・拡張を今後の施策とする動きがみられます。

なお、全国は 7.9 ポイント改善の 7.9 となっており、神奈川県は 4.1 ポイント改善の 11.6 となっております。

来期の予想業況判断については、15.5 ポイント悪化の 14.8 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

	D.I.			
前期実績	40.2	43.5	16.3	23.9
当期実績	42.2	42.3	15.5	26.7
来期予想	27.7	44.6	27.7	0.0
前年同期比	48.8	27.9	23.3	25.5

販売価格

	D.I.			
前期実績	11.9	86.0	2.1	9.8
当期実績	13.3	81.2	5.5	7.8
来期予想	11.1	81.2	7.7	3.4

在庫

	D.I.			
前期実績	6.5	85.9	7.6	▲1.1
当期実績	10.1	86.6	3.3	6.8
来期予想	8.9	87.8	3.3	5.6

人手

	D.I.			
前期実績	7.6	56.6	35.8	▲28.2
当期実績	2.2	53.4	44.4	▲42.2
来期予想	3.3	52.9	43.8	▲40.5

収益

	D.I.			
前期実績	34.7	52.3	13.0	21.7
当期実績	38.8	45.7	15.5	23.3
来期予想	18.8	52.4	28.8	▲10.0
前年同期比	40.0	34.5	25.5	14.5

原材料価格

	D.I.			
前期実績	29.6	69.4	1.0	28.6
当期実績	29.2	67.5	3.3	25.9
来期予想	20.2	75.4	4.4	15.8

資金繰り

	D.I.			
前期実績	11.9	70.8	17.3	▲5.4
当期実績	18.8	65.7	15.5	3.3
来期予想	10.0	74.5	15.5	▲5.5

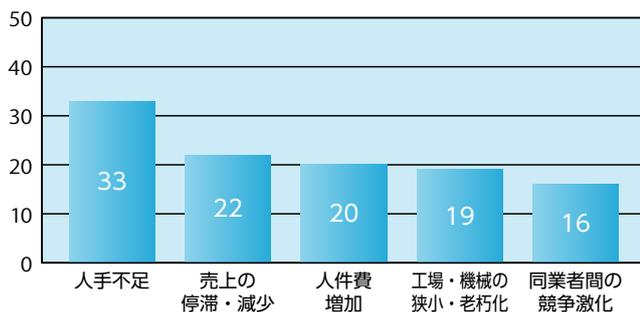
設備状況

	D.I.			
前期実績	6.5	66.1	27.4	▲20.9
当期実績	4.4	73.2	22.4	▲18.0
来期予想	4.5	78.3	17.2	▲12.7

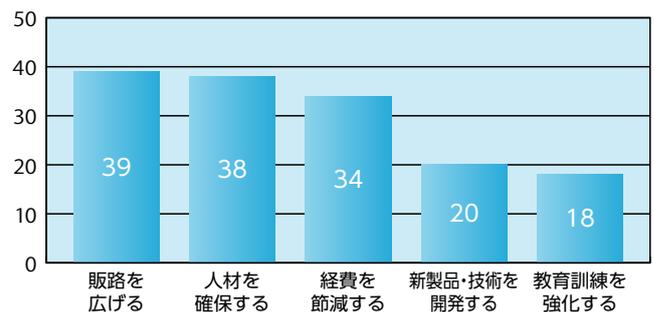
当期実績…29年10～12月期
来期予想…30年1～3月期

□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下降

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



卸売業

●概況

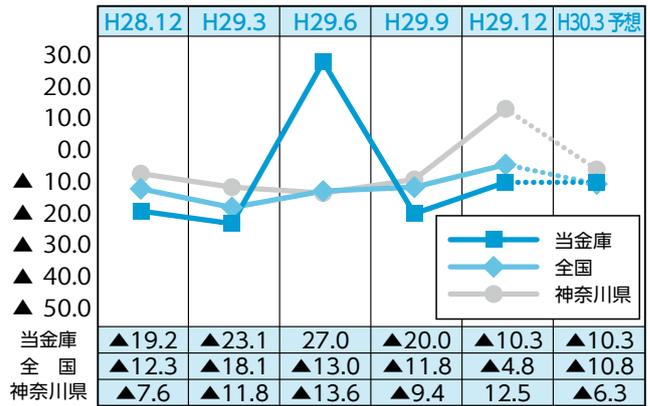
卸売業の業況判断D.I.は前回調査比9.7ポイント改善の▲10.3となりました。項目別では、売上額D.I.は前回調査比14.9ポイント悪化の▲6.9、収益D.I.はほぼ横這いの3.5となっております。

総体的に安定した受注を確保する動きがみられるものの、機械部品卸や食料品卸を中心とした仕入先からの値上げ要請により、仕入価格D.I.が8.2ポイント上昇の32.2と、上昇感が強まっていることに加え、建材卸においては、経営上の問題点として、販売先の入金遅れなどに伴う代金回収の悪化を挙げる企業が増加し、資金繰りに苦慮する様子も見受けられることから、景況感はマイナス域が続いております。

なお、全国は7.0ポイント改善の▲4.8となっており、神奈川県は21.9ポイント改善の12.5となっております。

来期の予想業況判断については、横這いの▲10.3となっております。

●業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	36.0	36.0	28.0		8.0
当期実績	24.1	44.9	31.0	▲6.9	
来期予想	31.0	55.3	13.7	17.3	
前年同期比	20.6	41.5	37.9	▲17.3	

販売価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	20.0	72.0	8.0	12.0
当期実績	20.6	69.1	10.3	10.3
来期予想	24.1	65.6	10.3	13.8

在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	8.3	83.4	8.3	0.0
当期実績	13.7	82.9	3.4	10.3
来期予想	13.7	86.3		13.7

人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	76.0	24.0		▲24.0
当期実績	3.4	58.7	37.9	▲34.5
来期予想	3.4	51.8	44.8	▲41.4

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	24.0	56.0	20.0		4.0
当期実績	24.1	55.3	20.6	3.5	
来期予想	27.5	58.8	13.7	13.8	
前年同期比	24.1	48.4	27.5	▲3.4	

仕入価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	28.0	68.0	4.0	24.0
当期実績	35.7	60.8	3.5	32.2
来期予想	32.1	64.4	3.5	28.6

資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	12.0	60.0	28.0	▲16.0
当期実績	-10.3	55.3	34.4	▲24.1
来期予想	-10.3	55.3	34.4	▲24.1

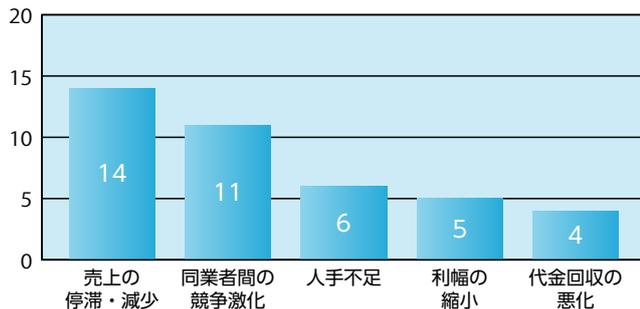
設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	4.0	80.0	16.0	▲12.0
当期実績	6.8	79.5	13.7	▲6.9
来期予想	7.1	78.7	14.2	▲7.1

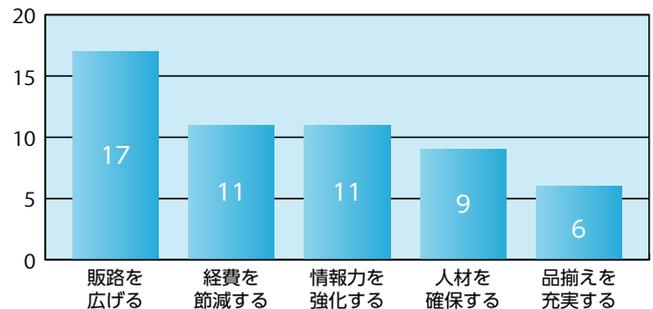
当期実績…29年10～12月期
来期予想…30年1～3月期

□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下降

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



小売・飲食業

概況

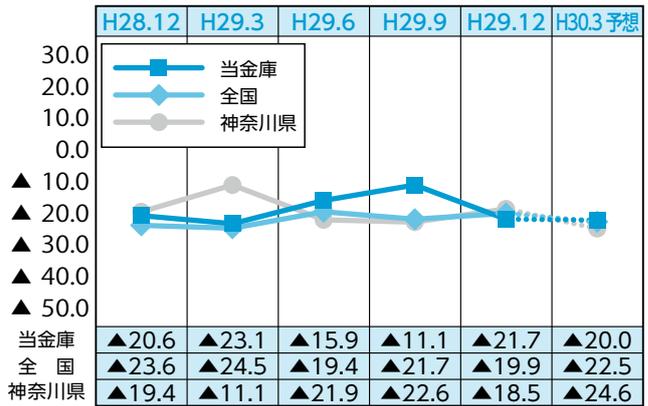
小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査比 10.6 ポイント悪化の▲21.7となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 18.0 ポイント改善の 11.6、収益 D.I. は 12.8 ポイント改善の 3.3 となっております。

前回調査時における天候不順の影響が徐々に和らぎ、飲食料点小売業を中心とした販売の持ち直しにより、売上額・収益 D.I. はプラス域に転じたものの、仕入価格の高止まりに加え、人手不足や最低賃金の引上げに伴い、経営上の問題点として、約 3 割の企業が人件費の増加を挙げ、引き続き厳しい収益環境が予想されることから、景況感の改善には至らなかったものと思われま。また一部企業においては、消費者の根強い節約志向を背景とした利用客の減少により、営業時間の変更を行う動きもみられます。

なお、全国は 1.8 ポイント小幅改善の▲19.9、神奈川県は 4.1 ポイント改善の▲18.5 となっております。

来期の予想業況判断については、1.7 ポイント小幅改善の▲20.0 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	25.3	43.0	31.7		▲6.4
当期実績	31.6	48.4	20.0		11.6
来期予想	23.3	38.4	38.3		▲15.0
前年同期比	28.8	30.6	40.6		▲11.8

販売価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	15.8	79.5	4.7	11.1
当期実績	16.6	76.8	6.6	10.0
来期予想	16.6	75.1	8.3	8.3

在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	20.6	69.9	9.5	11.1
当期実績	16.6	78.4	5.0	11.6
来期予想	11.6	83.4	5.0	6.6

人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	-6.3	57.2	36.5	▲30.2
当期実績	-5.0	60.0	35.0	▲30.0
来期予想	-5.0	56.7	38.3	▲33.3

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	23.8	42.9	33.3		▲9.5
当期実績	26.6	50.1	23.3		3.3
来期予想	20.0	40.0	40.0		▲20.0
前年同期比	25.4	32.3	42.3		▲16.9

仕入価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	33.3	60.4	6.3	27.0
当期実績	40.0	55.0	5.0	35.0
来期予想	33.3	61.7	5.0	28.3

資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	-9.5	54.0	36.5	▲27.0
当期実績	-6.6	58.4	35.0	▲28.4
来期予想	-5.0	58.4	36.6	▲31.6

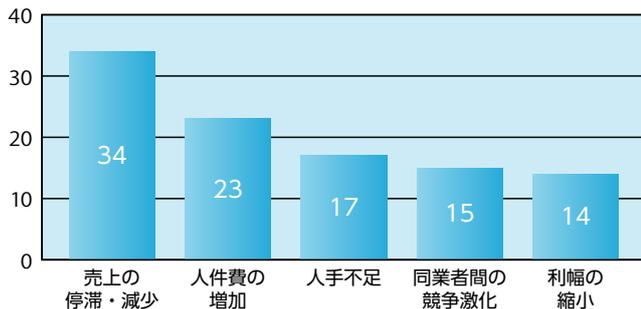
設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	-1.6	82.3	16.1	▲14.5
当期実績	-1.6	80.1	18.3	▲16.7
来期予想		81.7	18.3	▲18.3

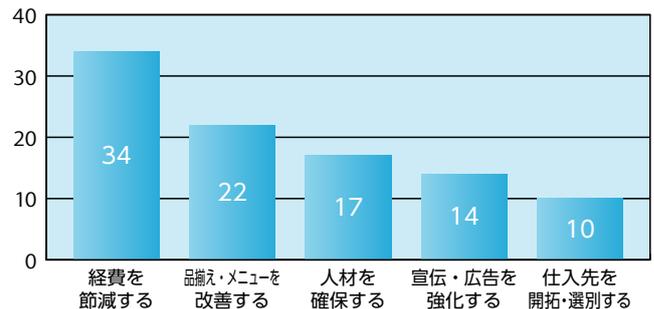
当期実績…29年10～12月期
来期予想…30年1～3月期

□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下降

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



サービス業

概況

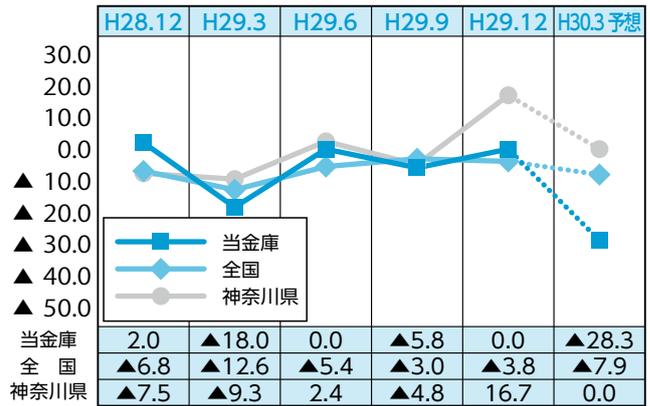
サービス業の業況判断 D.I. は前回調査から 5.8 ポイント改善の 0.0 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 3.9 ポイント悪化の 1.8、収益 D.I. は 3.7 ポイント悪化の▲5.6 となっております。

一部の医療・介護事業や自動車整備業を中心に人手不足は深刻さを増しており、人手過不足 D.I. が▲50.9 と、調査開始以来、最も人手不足感が強く、売上が伸び悩んだ企業も見受けられることから、景況感は小幅改善にとどまったものと思われます。また、一部企業においては、人材確保・定着化に向け、正社員への雇用シフトを図る動きや教育訓練の強化により、従業員の資質向上に努める動きもみられます。

なお、全国はほぼ横這いの▲3.8 となっており、神奈川県は 21.5 ポイント改善の 16.7 となっております。

来期の予想業況判断については、28.3 ポイント悪化の▲28.3 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	30.7	44.3	25.0		5.7
当期実績	30.1	41.6	28.3		1.8
来期予想	13.2	49.1	37.7		▲24.5
前年同期比	30.1	41.6	28.3		1.8

料金価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	1.9	88.5	9.6	▲7.7
当期実績	3.8	88.6	7.6	▲3.8
来期予想	3.8	82.8	13.4	▲9.6

資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	7.6	71.3	21.1	▲13.5
当期実績	15.0	53.0	32.0	▲17.0
来期予想	11.3	56.7	32.0	▲20.7

設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	1.9	71.2	26.9	▲25.0
当期実績	3.7	71.8	24.5	▲20.8
来期予想	1.8	71.8	26.4	▲24.6

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	26.9	44.3	28.8		▲1.9
当期実績	24.5	45.4	30.1		▲5.6
来期予想	11.3	51.0	37.7		▲26.4
前年同期比	26.4	43.5	30.1		▲3.7

材料価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	23.0	77.0		23.0
当期実績	36.5	61.6	1.9	34.6
来期予想	30.7	65.5	3.8	26.9

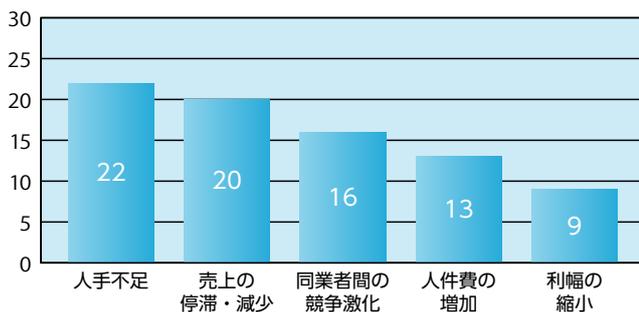
人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	3.8	59.7	36.5	▲32.7
当期実績	49.1	50.9		▲50.9
来期予想	3.7	53.0	43.3	▲39.6

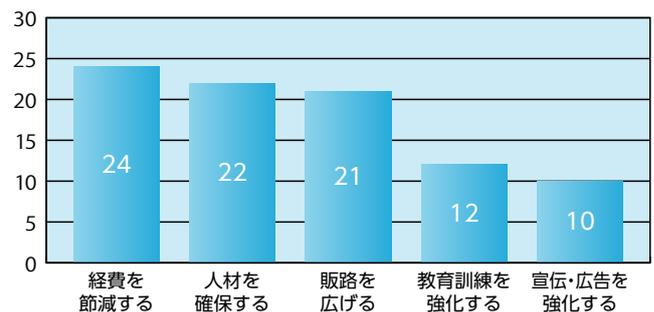
当期実績…29年10～12月期
来期予想…30年1～3月期

□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下降

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



建設業

概況

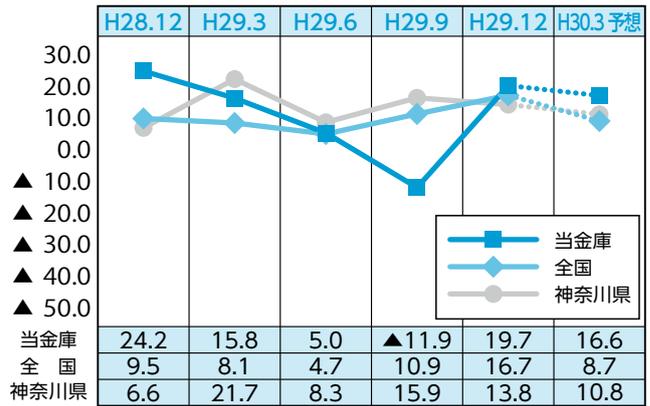
建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 31.6 ポイント改善の 19.7 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 31.3 ポイント改善の 22.9、収益 D.I. は 27.0 ポイント改善の 5.0 となっております。

公共工事や大型の民間工事受注の確保とともに、一部企業においては、東京五輪関連における観光客増加を見据えた施設整備の受注獲得の動きもみられたことから、景況感は 4 期ぶりに改善に至ったものと思われま。また、建築資材等の材料価格の上昇に加え、人手不足や外注先の確保難を懸念する企業が増加する中、請負価格 D.I. は 16.4 ポイント上昇の 16.4 と、コスト増加分の価格転嫁が徐々に進んでいる様子も窺えます。

全国は 5.8 ポイント改善の 16.7 となっております。神奈川県は 2.1 ポイント悪化の 13.8 となっております。

来期の予想業況判断については、3.1 ポイント悪化の 16.6 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.		
前期実績	27.1	37.4	35.5		▲8.4		
当期実績		44.2	34.5	21.3	22.9		
来期予想			39.3	47.6	13.1	26.2	
前年同期比				34.4	44.3	21.3	13.1

請負価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.		
前期実績	8.4	83.2	8.4	0.0		
当期実績		22.9	70.6	6.5	16.4	
来期予想			16.3	72.3	11.4	4.9

在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.		
前期実績	-10.1	88.3	1.6	8.5		
当期実績		-6.5	88.6	4.9	1.6	
来期予想			-4.9	88.6	6.5	▲1.6

人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.	
前期実績	-6.7	52.7	40.6	▲33.9	
当期実績		-1.6	54.2	44.2	▲42.6
来期予想			50.9	49.1	▲49.1

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.		
前期実績	16.9	44.2	38.9		▲22.0		
当期実績		29.5	46.0	24.5	5.0		
来期予想			27.8	54.2	18.0	9.8	
前年同期比				31.1	49.3	19.6	11.5

材料価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.		
前期実績	25.4	71.3	3.3	22.1		
当期実績		29.5	70.5		29.5	
来期予想			22.9	77.1		22.9

資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.		
前期実績	-6.7	61.1	32.2	▲25.5		
当期実績		13.1	68.9	18.0	▲4.9	
来期予想			11.4	70.6	18.0	▲6.6

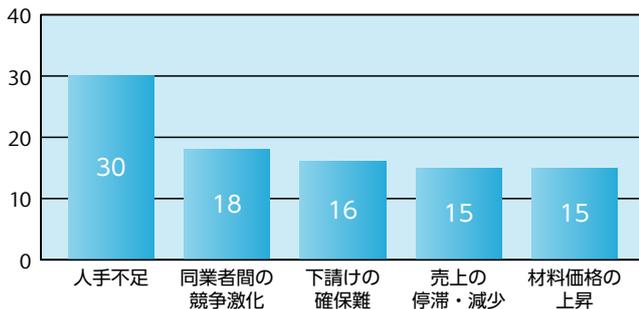
設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.	
前期実績	-3.5	93.0	3.5	0.0	
当期実績			88.4	11.6	▲11.6
来期予想			88.2	11.8	▲11.8

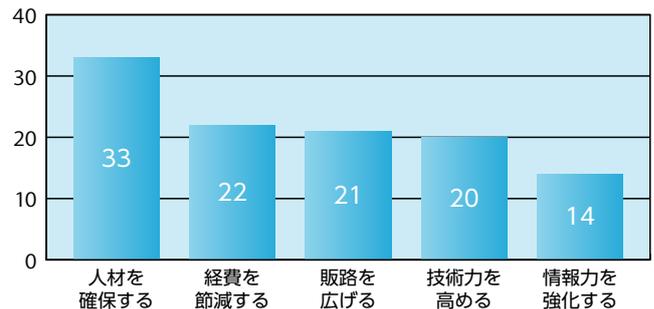
当期実績…29年10～12月期
来期予想…30年1～3月期

□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下降

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



不動産業

●概況

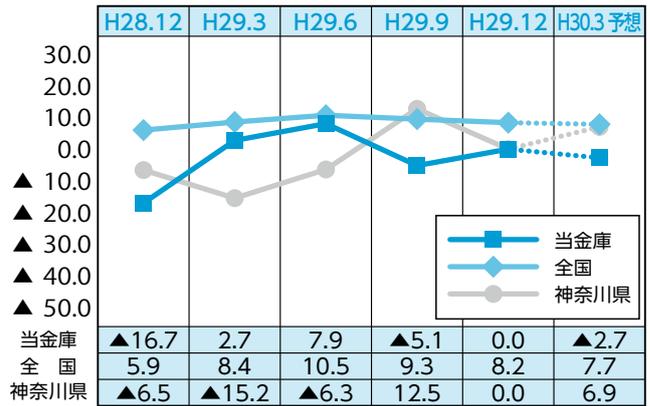
不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 5.1 ポイント改善の 0.0 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 18.3 ポイント改善の 10.8、収益 D.I. は 5.2 ポイント改善の 2.7 となっております。

経営上の問題点として、商品物件の高騰を挙げる企業が増加する中、秦野・伊勢原エリアや県西エリアを中心に、商品物件の仕入に動きがみられ、在庫過不足 D.I. は ▲35.1 と、4.9 ポイント不足感が弱まり、今後については、不動産の有効活用を検討する動きや早期売却に向け、販売強化を図る動きも見受けられます。

なお、全国は 1.1 ポイント小幅悪化の 8.2 となっており、神奈川県は 12.5 ポイント悪化の 0.0 となっております。

来期の予想業況判断については、2.7 ポイント悪化の ▲2.7 となっております。

●業況判断 D.I. 値



売上額

項目	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
売上額	17.5	32.4	24.3	29.7	▲7.5
売上高	57.5	46.0	51.4	37.9	10.8
売上原価	25.0	21.6	24.3	32.4	0.0
前年同期比					▲2.7

販売価格

項目	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
販売価格	2.5	5.4	2.7	2.7	▲22.5
販売単価	72.5	75.7	81.1	37.9	▲13.5
販売総額	25.0	18.9	16.2	32.4	▲13.5
前年同期比					▲13.5

在庫

項目	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
在庫	7.5	13.5	5.4	29.7	▲40.0
在庫高	45.0	37.9	40.6	37.9	▲35.1
在庫原価	47.5	48.6	54.0	37.9	▲48.6
前年同期比					▲48.6

人手

項目	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
人手	87.5	78.4	78.4	29.7	▲12.5
人手高	12.5	18.9	18.9	32.4	▲16.2
人手原価	18.9	18.9	18.9	32.4	▲16.2
前年同期比					▲16.2

収益

項目	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
収益	22.5	24.3	21.6	29.7	▲2.5
収益高	52.5	54.1	56.8	48.7	2.7
収益原価	25.0	21.6	21.6	32.4	0.0
前年同期比					8.1

仕入価格

項目	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
仕入価格	5.0	29.7	24.3	29.7	▲12.5
仕入高	77.5	62.2	64.9	48.7	21.6
仕入原価	17.5	8.1	10.8	32.4	13.5
前年同期比					13.5

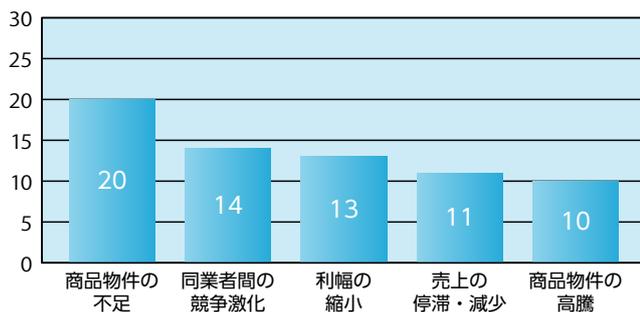
資金繰り

項目	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
資金繰り	-10.0	-10.8	-8.1	29.7	▲2.5
資金高	7.5	73.0	75.7	48.7	▲5.4
資金原価	12.5	16.2	16.2	32.4	▲8.1
前年同期比					▲8.1

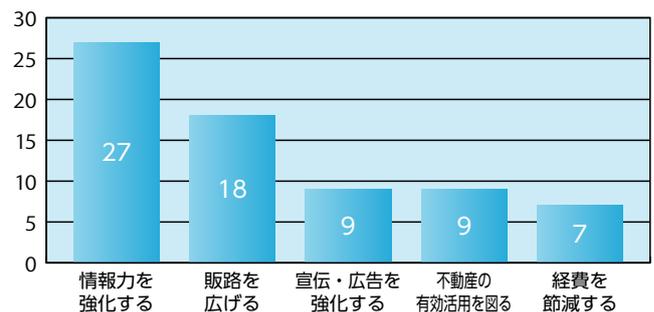
当期実績…29年 10～12 月期
来期予想…30年 1～3 月期

□ 良い、増加、上昇、過剰、楽 □ 普通、変わらず、適正 □ 悪い、減少、下降、不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



当金庫のお客様 347 社にお願いして特別調査を実施いたしました。

問1. 貴社では、2018年の日本の景気をどのように見通していますか。1つお答えください。

- 非常に良い 2社
- 良い 22社
- やや良い 59社
- 普通 156社
- やや悪い 70社
- 悪い 15社
- 非常に悪い 4社

問2. 貴社では、2018年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。1つお答えください。

- 非常に良い 2社
- 良い 22社
- やや良い 60社
- 普通 153社
- やや悪い 70社
- 悪い 16社
- 非常に悪い 5社

問3. 2018年において貴社の売上額の伸び率は、2017年に比べおおよそどのくらいになると見通していますか。1つお答えください。

- 30%以上の増加 4社
- 20~29%の増加 9社
- 10~19%の増加 42社
- 10%未満の増加 72社
- 変わらない 130社
- 10%未満の減少 46社
- 10~19%の減少 17社
- 20~29%の減少 6社
- 30%以上の減少 1社

問4. 貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。1つお答えください。

- すでに上向いている 76社
- 6ヶ月以内 42社
- 1年後 48社
- 2年後 35社
- 3年後 20社
- 3年超 16社
- 業況改善の見通しは立たない 82社

問5. 世間一般では、「景気回復を実感できない」という意見が広くみられるようですが、貴社では、どのような状況になれば、世の中が景気回復をより実感できるようになるとお考えですか。最大3つまで選んでお答えください。

- 企業収益の改善 222社
- 賃金の上昇 146社
- 物価の安定 77社
- 後向きな話題・報道の減少 69社
- 雇用機会の増加 57社
- 社会保障の充実 48社
- 株価・地価の上昇 32社
- 海外に関するリスクの低減 23社
- どのような状況になっても景気回復を実感できない 19社
- その他 6社

「第6回ビジネスマッチング with かながわ8信金」を開催します！

日 時	平成30年6月7日(木) 8:50~17:00	
場 所	大さん橋ホール 横浜市中区海岸通1-1-4	
募集対象企業	製造・食品・物販関係	
募集規模(予定)	発注・バイヤー企業	100社
	受注・サプライヤー企業	300社
参加費	無料 ※展示出展料は有料	
募集期間	発注・バイヤー企業 平成30年1月9日~平成30年2月16日 受注・サプライヤー企業 平成30年2月26日~平成30年3月20日 ※募集予定企業数に達した場合、募集を締め切らせていただく場合がございます。	
応募ホームページURL	https://kanagawa-matching.8shinkin.jp/	

中興信用金庫を含む神奈川県内の8信用金庫では、県内で活動される企業を中心に、新たなビジネスパートナーを見つけいただくため、製造・食品・物販関係の事業者を対象とした個別商談会を開催します。今回は、展示ブースコーナー(有料)の他、「大学・研究機関との技術マッチングの開催」「支援機関との相談ブースの設置」「他県との連携」等を行う予定です。

○第5回商談会の様子



詳しくは、当金庫ホームページまたはお近くの営業店までお問い合わせください。